

- 1、開会
- 2、校長あいさつ
- 3、会長あいさつ
- 4、協議
- 5、まとめ

① 「令和2年度学校経営計画」の進捗状況について

(校長) 分掌長からヒアリングをして進捗状況の確認を行った。

- ・相談窓口に自主的に生徒が来てくれる態勢を整えていきたいと考えているが、教員から声をかけている実態もある。
- ・様々な経験をさせてあげたいと考えているが、スポーツの大会などが中止になっている。その中で、陸上大会とダンス大会が実施予定である。
- ・学校経営推進費で電子黒板が設置されるので、電子黒板を活用した公開授業の実施を計画している。教員向けの人権教育も実施予定である。
- ・広報活動として校長ブログを公開していく予定である。
- ・教職員の時間外勤務について取り組んでいるが、なかなか少なくなかない。継続して取り組んでいく。

② 学校教育自己診断について

(教頭) 生徒・保護者・教職員からアンケートをとっている。3回目の協議会にアンケート結果と分析をお示しする予定。

③ 新型コロナウイルス感染症対策の中での教育活動について

○コロナ禍の中でのオープンスクール、学校見学会について紹介

オープンスクールは例年、中学生を中心に本校に興味を持っておられる方を対象にしているが、今年度に限っては対象者をしばって募集を行った。感染対策をした上で本校3年生が運営に協力した。

○進路指導

10月末までに40件実習に行っている。ハローワークさんとも連携をとっている。

内定や見極め実習の時期が1か月ずれているが、決まりに沿って動いている。2年生がコロナ禍の影響を受けている。体験実習が難しいと言われる企業さんもある。

3年生の実習が落ち着いたら体験実習を進めようかというお声もいただいている。

1年生は6月に3企業の見学を予定していたが10月に1企業の見学となった。中止ではなく、1社でもお伺いできて良かったと考えている。

体験実習は実施予定。企業開拓もしている。企業から問い合わせもいただいている。

見学セミナーも実施。12月10日にもう一度予定しているので、新たなつながりも期

待される。

卒業生のアフターフォローを障がい者就業・生活支援センターと協力して行う。

5、6月は回れなかった。テレワークや自宅待機になっている生徒もいた。アフターフォローは続けている。

○学校生活の中の感染対策

休業明けからは全教員で教室のいす、ドアノブ、廊下の手すり、更衣室等を消毒した。今は清掃の時間に、生徒も消毒の活動を行っている。また、生徒の保健委員会では「保健研究発表大会」（オンラインで実施）に出場予定である。委員会では新型コロナウイルス感染症について調べ、手洗いチェッカーも作成した。手洗いは定着が難しい生徒もいるが、意識の向上を目的にしている。

○研修旅行

7期生は入学前から台湾を予定し、1年次(R1)には教員による現地視察をし、現地交流校とも準備を進めていた。2年次(R2)となり、新型コロナウイルス感染症の影響により11月から1月に延期することで実施の可能性を模索したが、10月1日をもって国内へ変更した。現地交流校とは将来的なことも考え、交流は続ける予定。

④ 質問・意見交換

(会長) 教員の特別支援学校教諭免許状の保有率は何%か。

(教頭) 5人増える予定。30%アップの予定。

(会長) コロナ禍の中、現段階で苦労されているが、ある意味着実に取り組んでいる。台湾から国内に変更になったが、研修旅行に向けてよく取り組まれている。

(委員) ご苦労されていることがわかった。コロナ禍の中、実習に行く機会がなく、先生が「行かさなきゃ」という思いが先に立ち、まだ実習に行く準備ができていない生徒さんを実習に出してしまっているケースがある。それは本人、支援者、企業の誰もハッピーにならない。何のための実習なのかを考える必要がある。課題の認識に目線を合わせていく。

(委員) 介護の仕事などは補助の仕事であっても本人が自立していないと採用にならない。学校で指示を受けたことはひとりで完結できる力を身に付けてほしい。

(委員) 物流では体力が必要でできばきとした動きが求められる。職種によってはもっと人を必要としている企業も多い。

(委員) 求人が減っている感覚を感じていない。飲食はしんどいが、物流、介護関係は多いなど業種による。

(委員) ある程度、3年間で意識をもつように。自分の生きる方法を自分で考えられるようにしてあげてほしい。

⑤ 本日のまとめと終わりのあいさつ

第3回は令和3年3月12日(金)を予定している。